

ピノ&アチェロ 7月号



Contents

- P1 ごあいさつ
- P2 今月の行事予定
来月の行事予定
- P2 お誕生児紹介
- P3 今月のお知らせ
- P4 クラス目標
- P4 給食だより
- ピノ保育園
連絡先



みどりの芝生はだしてあそぼ



おそとで絵本も気持ちいい

P1

向夏の候、梅雨はまだ続くようですが、同時に暑さも増し、冷たい水が心地よく感じるこの頃。いよいよプール遊びが始まります。水の事故に十分留意しながら楽しめるよう工夫して参ります。体調を崩さない様に心がけていきたいものですね。子ども達も、水分補給をしっかり行い、熱中症対策を講じたいと思います。玄関先の燕は、めでたく5匹巣立っていきました。身体が大きくなるにつれて、巣が壊れてしまいましたが、また新たなご夫婦が来園し、同じところに巣を作り、卵を温めています。今度は、巣が壊れないことを祈るばかりです。可愛い雛が巣立っていく様子を、またしばらく見守っていきましょう。

さて、7月と言えば七夕。織姫と彦星のお話は有名ですね。なぜ、短冊に願いを書くのでしょうか。この風習は、江戸時代からはじまったと言われてます。寺子屋の影響が大きいとされ、男子は手習いの上達を、女子は、針や糸をお供えして、お裁縫が上手になりたいと願ったのが始まりとされています。

七夕の行事食としては、そうめんがあげられますが、なぜそうめんなのでしょう。時は、平安時代の初期まで、遡ります。その昔、中国で高貴な家の子どもが7月7日に亡くなってしまいました。成仏できなかったその子は、鬼となり、街に熱病を流行らせてしまいました。その鬼を鎮めるために亡くなった子どもの好物であった素餅（さくべいという小麦粉の麺）をお供えしたところ、鬼は、成仏し病が終息したと言われてます。この時から、病が流行らない様にと素餅が供えられるようになりました。素餅は、形状がわかっていないようです。今の様な細い麺ではなかったかもしれません。他にも、乞巧奠（きっこうでん）と言って機織りの上達を願う日だったので、機織りの糸を素麺に見立てたという説と天の川に見立てたという説があります。園でも七夕ランチですまし汁の中にそうめんが入る予定です。楽しみにしててくださいね。

そして、七夕の日の夜、是非お子様と夜空を見上げてみてください。織姫星（こと座のベガ）、彦星（わし座のアルタイル）を見つけて下さい。少し離れたところに、白鳥座のデネブがあり、この三つが夏の大きな三角形になります。そんな話も是非してあげてくださいね。七夕は、統計的に雨がが多いようですが、晴れて織姫と彦星が会えるように、皆様の願いが届きます様願っております。

最後に、七夕と書いて、なぜたなばたと読むのでしょうか。七夕とは、中国から伝わった五節の一つで、「しちせき」の節句といます。古来より、日本には、^{たなばたつめ}棚機津女（機織りをする女性の事）の伝説があり、布を織って神様に供える事で、災厄を避けるという伝説です。この、「たなばたつめ」と「しちせきの節句」をミックスさせることで、七夕を「たなばた」と読むようになったそうです。



ピノ保育園の『子育て支援通信 ピノ&アチェロ 園だより』の名前の由来「ピノ」は園舎が建つ前が巨峰畑だったので、葡萄の種類から「ピノ・ノワール」 Pinot Noir (フランス語)から名付けられました。「アチェロ」は園庭の木登りのできる樹木が「もみじ」ですので、「アチェロ」(イタリア語)と名付けました。ピノ保育園の特徴的なものから名付けましたので、これから園だよりお楽しみに活用してください。

7月行事予定

- 1日(金) プール開き
- 14日(木) 絵画造形教室 (原田弘美先生)
- 16日(土) 避難訓練
- 20日(水) 7月生誕生祝会
- 23日(土) サマーフェスティバル
- ※純真短期大学より実習生 1名
6月27日~7月8日(金)まで
- ※伊奈中学校インターシップ 3名
6日~8日
- ※十文字短期大学より実習生 1名
25日~8月6日(土)まで
- ※4歳児保護者保育参加

8月行事予定

- 18日(木) 避難訓練
- 21日(日) クリエ祭り参加(5歳児のみ)
- 24日(水) 8月生誕生祝会
- 25日(木) 絵画造形教室 (原田弘美先生)
- ※8月上旬に流しそうめんを行います。日程が決まり次第お知らせいたします。



お誕生日おめでとうございます



- ★毎月第三水曜日の予定で全園児がホールに集い誕生児をお祝いします。
- ★誕生会での出し物は職員が工夫を凝らし、良い文化を伝える機会にします。
- ★ご本人の誕生日当日は
今年度は、そらまめくんの誕生日絵本をメッセージ付きでプレゼントさせて頂きます。
- ★クラスでは一ヶ月間お誕生カードを飾ります。
- ★誕生祝会は栄養士さん手作りの特別献立とおやつにケーキが各クラス毎に届けられます



P2



6月のランチプレートは、チキンライスがかえるに変身！ミートボールは、かたつむりに。梅雨の鬱陶しさをぬぐいさるかのようになり、大喜びのお子様たちでした。



伊奈の里で交流会がありました。

年長さんが同法人の老人施設、伊奈の里にお邪魔して交流会を行いました。肩もみをしてあげたり、一緒にぬりえや折り紙をしたり、空気砲的当てゲームを楽しみました。お年寄りの方や職員の方にも、可愛がっていただき、とてもいい表情でその場にいるみんなが、にこっり笑顔になりました。



虫歯予防デーにちなんで集会を行いました。



カバ君が歯が痛くなったお話から始まり、歯磨きを何故しなくてはいけないかを知りました。また、実際に歯磨きの模型を使って看護師より磨き方の指導を受けました。また、ブクブクうがいと、ガラガラうがいの違いを知り、歯磨きの時のブクブクうがいを早速実行していた子ども達でした。8020（ハチ



マルニイマル）運動もこの時期、全国で行われています。「80歳になっても自分の歯を20本以上保とう」という趣旨のものです。小さいころからのケアが大切になってきます。虫歯にならないように、気を付けていきましょう。

草取りのご協力ありがとうございました。

第1回目は、5組の方に参加して頂きました。真夏の様に暑い日ではありましたが、職員も一緒になり夢中でやること1時間。あっという間に時間が過ぎました。皆で終わった後冷たいポカリとお茶で、労をねぎらいました。参加して下さった保護者の方も「楽しかったです。芝生で遊べる環境は、ありがたいです。大事にしていきたいですね。」とのご感想を頂きました。第2回は、雨が降ったりやんだり、足元の悪く、8組のご家庭にご協力いただきました。ありがとうございました。皆さん夢中になって取って頂きあっという間にゴミの袋がいっぱいになりました。お陰様できれいになりました。

※次回予定日時 7月 2日（土）午前9時～10時

7月13日（水）午後4時15分～5時15分

※服装 汚れてもよい動きやすい服装で。軍手などは園で用意します。



ちゃのみず博士の理科教室 第2弾を行いました

ただ作って楽しむだけが目的ではありません。お話を聞く⇒しっかり見る⇒話す（疑問点など）⇒行動に移すという事が身につくように、創意工夫する力を身に着けるために行っています。今回は、年長さんを対象にブーメランを作って、飛ばすまでの作業を楽しみました。説明をしっかり博士の顔を見て聞き、まずは、土台となる紙に模様を書き込みました。線の通りにハサミで切り、十文字にホチキスで止めて、4枚の羽根に折筋を入れ完成です。いざ飛ばしてみると、羽の長さや、反り具合で飛び方が違うことを発見！紙質も厚いものと薄い物があり、厚めの方が良く飛ぶことがわかりました。今回の発見で、上手く飛ばなかったお友達も今度は、こうしてみようという思いが生まれたようです。



<7月のクラス目標>

- 0歳児 ・夏の暑さに少しずつ慣れ、体温調節機能を養い、体調を崩さない様に過ごす。
・沐浴や水遊びを通して感覚遊びを楽しみ、暑い夏を気持ちよく過ごす。
- 1歳児 ・暑さに負けず、夏ならではの遊びを楽しむ。
・自分でやろうとする気持ちを大事に着脱など自分の力で行えるようにする。
- 2歳児 ・保育者や友達と一緒に水を使った遊びや制作を楽しむ。
・夏ならではの行事に意欲的に参加し、日本の夏の伝統的文化に触れる。
- 3歳児 ・水を使って遊ぶことの楽しさ、気持ちよさを感じる。
・サマーフェスティバルに向け気持ちを高め楽しみにする。又、楽しんで参加する。
・身の回りの簡単なことを出来るようになる。
- 4歳児 ・プールや園庭での水遊びに興味を持ち、進んで取り組む。
・一緒に遊んだり、活動したりすることで、友達との関係を深める。
- 5歳児 ・自分の思いだけでなく、相手の気持ちを考えて行動する。
・注意しなければならぬことを頭に入れながら、水遊びを楽しむ。
・夏の自然現象の変化に気付いたり、身近な植物の成長に触れて興味関心を持つ。

<7月4日より麦茶を水分補給時に飲みます>白湯を水分補給時に出しておりましたが、熱中症対策を考えた結果麦茶に切り替えることに致しました。麦茶の効能には7つあります。①胃を守ってくれる。②血行を促進する。③抗酸化作用がある。④ほてった体を冷やす。⑤発癌性物質に対して効果がある。⑥虫歯を予防することが出来る。⑦誰もが安心して飲むことができる。⑥に関しては、虫歯の元となるミュースタン菌の生成を妨げる働きがあるので、虫歯予防になるわけですが、虫歯にならないというわけでは、ありません。色素沈着も含め、しっかりと歯磨きをすれば大丈夫と囁託医の小島先生からもアドバイスを頂きました。ご理解の程宜しくお願い致します。



～食育で子どもに身につけてほしい5つの力～

給食だより

1 食べ物を選ぶ力・・・元気に過ごすためには、バランスよく食べることが大切。そのバランスを子どもが理解し、自分で考えて適切に食べるものを選ぶ力です。日本の食生活の基本は、主食・汁・主菜・副菜からなる献立です。4つのお皿（赤、白、緑、黄色）は料理に入っている主な食材に合わせて4つに色で分けて示すものです。食材がそろっているか一目でわかるので、意識してみるのもよいですね。

赤のお皿・・・主に主菜で、蛋白質を多く含み、筋肉や血を作るもの。

白のお皿・・・みそ汁や吸い物、スープ。うまみを味わうためのだし汁がメイン。

緑のお皿・・・ビタミン・ミネラル・食物繊維を多く含み、筋肉や血を作る。

黄色のお皿・・・炭水化物を多く含み、活動する為のエネルギーの元となる。

2 料理する力・・・毎日の生活の中で、献立を考えたり、食材を選んだり、実際に料理したり、食事ができるまでの過程を楽しむことが「料理する力」へつながります。豆類のさやむき、とうもろこしの皮むき、キノコを小房に分ける等のお手伝い活動を楽しめるといいですね。

3 元気な体がわかる力・・・子どもにわかりにくく、表現しづらい自分の体の状態を便を通して判断し、健康な便は、バランスのとれた食事からできるという事を知り、食べ物で体調を整えることが出来る力。

4 食べ物の育ちを知る力・・・どんな食べ物がよいのかを理解するには、食べ物の育ちを知ることが必要です。自分でも栽培してみることで、安全な食べ物は何かという事に関心を持つようになります。園での野菜を育てるための様々な作業は、まさにそのためです。

5 味がわかる力・・・素材そのものの味がわかる能力も必要です。子どもの時から化学調味料に頼らない本物のだしに親しむことで、鋭敏で感情豊かな味覚が育ちます。素材の味を生かした薄味で、様々な味やうま味を味わう経験を沢山積み重ねることにより、食の幅を広げ、豊かな食生活を楽しむ事ができるようになります。

